

## 芝さんの家は非課税？

土地や家屋を持っている市民なら、誰にでもかかっているのが固定資産税。例外として、公共施設や社会福祉や宗教の施設などは「非課税」になりますが、それは物件ごとに、法律や条例で定める基準に当てはまるかどうかで判断されます。

12月8日の市議会本会議で、私は参議院議員・芝博一氏の自宅（市内山本町）が「非課税」になっているのはおかしい、と質問しました。

### 宗教法人所有でも、住宅に使っていれば「課税」

芝議員の自宅は、土地も家屋も宗教法人椿神社のものになっています。名目は「斎館」という神社の施設として「非課税」の申告をし、市がそれを認めたことになっています。しかし実態は、建設以来十数年、芝氏の自宅として使われ、またその建ち方もまったく普通の住宅で、「神社風」になっていません。

「直ちに正しい課税措置を行なうことを求める」との私の質問に、市側は「非課税の要件」に合っていると、そのまま課税しないと答弁しました。「斎館」だという神社側の言い分を、まるまる認めていく態度です。

しかし、山本町の周辺の住民に聞いても、芝氏宅に出入した人に聞いても、誰もが「あれは芝さんの家さ」と言い、非課税になっていることに首をひねります。椿神社境内には、立派な「斎館」が建っています。また、神社の建物であっても売店や食堂のある「椿会館」は、宗教施設ではないのできちんと固定資産税がかかっています。この件にだけ宗教施設の概念を思いきり拡大解釈した市の姿勢は、非常識と言わねばなりません。

不況でも所得がなくなっても、固定資産税はそのまま下がらず、苦勞して払っている市民が増えています。それでも払うのは、公平公正に課税されているだろうと信用しているからで、こんな特別扱いがあると知ったら、まじめに払おうとする意欲など無くなってしまいます。

# まるでパズル、給食配送ルート案

旭が丘小が来年度から校舎建替え工事にはいりますが、その際にこれまでの自校方式の給食室を無くしてしまう予定です。それでは来春からの給食はどこから来るのか？次のような方法にするという案が、議会に出されました。

旭が丘小の給食室を廃止            給食センター利用に（約1000食）  
センター利用校のうち、清和・明生・井田川の3校が、玉つき式にはみ出してしまう（約800食）  
自校方式の給食室から、白子小            清和小、鼓ヶ浦小            明生小、  
石薬師小            井田川小、と3ヶ所で2校分ずつ作って配送する。

これを教育委員会は「親子給食」と名付けました。私がこれまで見たことのある親子方式は、隣りあった学校どうしの組み合わせでしたが、こんな遠い親子は初耳です。また、親の鼓小（279食）より子の明生小（353食）が大きいのも、おかしなことです。

## 壊すことだけ決めてセンター改築の対策たてず

このような配送の変更のために、3ルートふえる配送車の費用が1200万円も余分にかかります。なんで、こんなややこしい方法にするのでしょうか？

その原因は、旭が丘小の給食室をなくす前提として、受け皿にする給食センターの建て替えを先にすべきなのに、それをさぼってきたことにあります。一昨年2月の「鈴鹿市学校給食問題研究協議会」答申には、「まず当面の課題は、老朽化が著しい飯野給食共同調理室を早急に建て替えることである」とハッキリ書かれています。ところが、いまだに給食センターは建て替え時期も場所も決まっていません。1970年にできたセンターは、こんど壊す旭が丘小の給食室（1975年）よりも古いのですから、順序があべこべです。

答申でいちばん早くせよと言われた重要事項を、手も付けずに2年置いてきた責任は重大です。また、その目途もないのに、先に給食室を壊すというのは、二重のまちがいです。

教育委員会がすべき仕事の手順をまちがえたために、余計な費用や手間暇がかかり、また調理員さんたちにそのシワ寄せがいきます。「食べること」をいいかげんにして、良い教育は出来ません。

# 来年から県の水道料金が下がります

鈴鹿市の水道に受水している、県営水道の料金が来年度から見直されますが、今どき珍しく「値下げ」ということが明らかになりました。

いま市が買っている県の水道水は、「木曽川用水」と「三重用水」の2系統で、昨年の実績で、木曽川用水20万トン、三重用水15万トン、全体の15%になります。料金の改定内容は次のとおりです。

[木曽川用水]	基本料金	1020円/m <sup>3</sup>	680円
	使用料金	39円/m <sup>3</sup>	変わらず
[三重用水]	基本料金	3300円/m <sup>3</sup>	変わらず
	使用料金	75円/m <sup>3</sup>	65円

## 1年で5640万円も、水道会計の負担が減る

今回の料金改定は、5年ごとの見直しによるもので、木曽川用水は建設費用の償還による引き下げ、三重用水は維持管理費の引き下げとのことです。鈴鹿市の水道会計はこれにより、今後5年間で2億8200万円、1年当たり5640万円の負担が軽くなります。また三重用水は、次の5年後には償還金が減って、ばかに高い基本料金がグッと安くなる予定です。

したがってここしばらくは、非常事態などがなければ水道経営は安定し、料金値上げが迫るようなことはない見通しです。

---

## 予定価格の引き下げ、4千万円以上の工事から

この10月から、大きな工事の入札予定価格を設計価格より引き下げる試行が始まりました。昨年の新庁舎建設工事に、予定価格を設計額より10%引き下げた「希望価格」として入札した結果、13億円も安くなったことから、他の大きな工事にも「希望価格」を適用することを、共産党市議団として要求してきたものです。

ただし、引き下げ幅は4%、設計額の96%を「希望価格」にするという、ちょっと業界に遠慮したようなやり方です。これまで行なわれた5件の入札の落札率を見ると、91.31%、93.02%、92.07%、94.28%、72.90%、平均で88.71%と、それなりの効果が出ています。今後、億単位の大きな工事にはもっと予定価格を引き下げて行なうような制度が必要です。

ずいそう

## 頭の中がバラバラの日本人

北朝鮮当局が、横田めぐみさんの遺骨として提出したものが、全くインチキのものだったことが、日本中の怒りを呼んでいる。北朝鮮は大ウソつきだ、もう制裁を発動するしかない！と。

同じ日に日本政府は自衛隊のイラク派兵の延長を決定した。ブッシュのイラク戦争を無条件に支持した小泉さん、その理由は、「イラクは大量破壊兵器を持っている」からだったが、これが、真っ赤な大ウソであったことが事実で証明されている。しかし、アメリカに制裁を！とは言わない。

金正日の大ウソは断じて許せない！しかしブッシュの大ウソは、これは不問にして、そのウソに乗じて出した日本の軍隊も引っ込めない。小泉さんの一つの頭の中で、「許せないウソ」と「許せるウソ」が、平気で共存している。この滑稽さと、恐ろしさ！！「愛国心」を声高に言い立てる多くの政治家の頭の中もこれと同様で、国会は集団ヒステリーの様相を呈し、それをマスコミが連日あおり立て、ニュースを見るたびに腹が立ってくる。

### 1人の命も、10万人の命も、みんな大事なのに

北朝鮮に拉致された日本人は、のべ数十人になるのだろうか。金正日の大ウソで、この人たちの命が抹殺されてはならない。断固として、その責任は追及されなければならない。

一方、ブッシュの大ウソで始められたイラク侵略によって殺されたイラク人は、10万人を超えたとされる。ファルージャの大虐殺の実相も、そのうち明らかになるだろう。イラクで活躍している米海兵隊は、沖縄の基地から出撃したもので、日本は、世界が手を引きだしたブッシュの侵略に、今もっとも協力する優等生である。すなわち、イラク人虐殺にもっとも手を貸しているのである。しかし小泉さんの頭には、こんな考え方は全くないらしい。

一人の日本人の娘さんの命の行方に、多くの日本国民が怒り嘆く、その同じ心で、イラクの罪のない10万人の命が抹殺されたことを、怒り嘆くことになぜならないのか？「イラク戦争賛成、自衛隊派兵賛成」という人に、ぜひこのことを考えてもらいたい。金正日もブッシュも、どちらも大ウソつきの独裁者ではないですか、と私は声を大にして言いたい。